

貴生川小学校

## 令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

**【市町 目標】**  
 ○「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。  
 ○「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。  
 ○いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

**【学校 目標】**  
 ○主体的な学習習慣を形成し、基礎基本を徹底する。  
 ○家庭や地域と連携し、一人一人の良さや可能性を發揮できる学習環境づくりに努める。  
 ○いじめを許さない風土を醸成し、安心して過ごせる学校・居場所のある学級をつくる。

**【現状と課題】**  
 ○視点1 児童は、課題に対し真面目に粘り強く取り組むことができる。また児童が「目的意識」がもてる授業づくりには一定効果が見られた。しかし、他者とのやりとりから読み解き理解する力に関しては課題がある。  
 ○視点2 友だちと協働し課題を解決することで、自分の学びを深め、広げ、高めることに至っていない。  
 ○視点3 全教職員の共通理解を図り、OJTを取り入れ実践を積んでいる。さらに、本校の課題について共通理解を深め、日々の授業実践につなげる必要がある。

### 取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○子どもが、進んで課題を解決するために、進んで他者と関わり、「話したい！聞きたい！」と前のめりになる授業を創造する。	・学習することが楽しい。(学校生活アンケート)		
	・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。(児童質問紙・学びのアンケート)		
	・		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○互いの違いを認め合い、自分の思いや考えなどを安心して表現できる学級づくりをする。	・自分と違う意見について考えるのは楽しい。(児童質問紙・アンケート)		
	・学校生活をよりよくするために、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。(児童質問紙・アンケート)		
	・		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「我が校の学ぶ力向上」の取組について、全教職員の共通理解を図り、OJTを取り入れ、自分の実践につなげる。	・テーマごとの研究グループの実践交流会を継続実施。		
	・教職員の業績評価(自己目標)		
	・		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・4月当初の職員会議で、校長の経営方針をわかりやすく説明し、全職員に1年間の方向性を浸透させる。課題に対する具体的な対策は、3つの部会に分かれて協議する。
- ・視点1は主に研究主任が、視点2は主に教務主任・学年主任が、視点3は校長・教頭が中心となって、組織的な実践につなげる。
- ・課題に応じて、月ごと、学期ごと、半期ごとに検証し、最終ゴールをイメージしながら改善して進めていく。
- ・3つの部会や校内研究、企画会議等のまとめを全職員で共有する。アンケートや調査結果は、校報及びホームページを活用し、保護者・地域等に対し積極的に発信する。

今年度の取組の成果と課題